

令和5年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	株式会社 ウェルフェアネット	代表者	平山 正明	法人・ 事業所 の特徴	「あるがままに 楽しく ゆったりと」の家訓のもと、18年目を迎える。併設のグループホームと共に利用者さんが住み慣れた地域で自分らしく暮らせるように、本人や家族の思いに寄りそったケアに努めている。
事業所名	さわやか憩いの家春日	管理者	光武 祐一郎		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	2人	2人	人	人	3人	人	人	人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
1. 事業所自己評価の確認	<p>改善計画をスタッフルームに貼り出し目標に取り組む</p> <p>「見える化」の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報の仕分け 物の整理整頓 <p>を通して、利用者さんへの的確な支援につなげる</p>	<p>改善計画をスタッフルームに貼り出し、常にスタッフの目にとどまるようにした。物だけでなく、申し送り事項のこまめな更新を徹底することで情報の整理をするなど、「見える化」の改善を行い申し送り時間の短縮、伝え洩れの減少となり、利用者さんへの支援へとつながった。</p>	<p>・十分に取り組んでいると思います。引き続きスタッフ皆様で協力し「見える化」に取り組む、より良い事業所になることを期待しております。・どうしても人の頭は忘れてしまうこともあります。・より頭に残りやすい方法を考えてあると思います。・スタッフ一人一人の気づきや意見、把握された情報、ケアプランを全員で共有しケアに活かせるように工夫と取り組みをしているのが分かりました。ホワイトボード、申し送りシート、暮らしシートなど様々なツールにある情報について更新が課題の様でしたので、電子媒体で残すと更新や保存、回覧に便利かと思いました。</p>	<p>改善計画をスタッフルームに貼り出しスタッフ全員が意識できるようにする。</p> <p>「見える化」の改善</p> <p>ヒヤリハットを整理し、取り組みの見直しを行う事で利用者さんが安心して暮らせる支援へとつなげる。</p>
2. 事業所のしつらえ・環境	<p>集合での会議が再開したら、推進会議の参加者の皆さんに事業所の様子を実際にみて頂く。(会議後でも別日に個人的にでも大丈夫です)</p> <p>R5年度も利用者さんにご家族へアンケートを実施する。</p>	<p>実際に総括表と独自のアンケート(自己評価の9項目ごとの感想とその他に分けて)を全利用者さんへ配布を行っている。</p> <p>いこいカフェへの案内を再開した。</p> <p>※詳細は以前の資料に記載</p>	<p>・なかなか事業所内にて利用者さんと職員さんとの関わる状況を見れる機会が少ないので、来年度は一度見学してみたいです。</p> <p>・感染症対策の必要もあり、我々地域の人が自由に事業所に入るのには難しいのではと思っています。</p>	<p>集合での会議が再開したら、地域運営推進会議参加の皆様にも事業所の様子を見て頂く。会議が無くとも事業所の戸は開いておりいつでも見て頂きたい。</p> <p>令和6年度も利用者さん、ご家族へのアンケートを実施する。</p>

<p>3. 事業所と地域のかかわり</p>	<p>地域行事は年間通して勤務表に入れ、利用者さんと一緒に参加していく。事業所開催の行事は地域の方をお招き出来るよう対応を検討していく。</p>	<p>地域の行事は勤務表に入れ込み、地域のカレンダーをスタッフルームに掲示して参加できるものは積極的に行った。 いこいカフェやクリスマス会に地域の方をお招きし、利用者の方々も喜んで頂けた。</p>	<p>・地域のイベントに参加されている姿は見えるので、地域に開かれているイメージがあります。 ・来年度は「いこいカフェ」に参加させて頂きたいと思います。</p>	<p>須玖南地区以外、利用者さんの暮らす地区の方々との接点を持ち、利用者の皆様が安心して暮らし続けられるように関係を築いていく。</p>
<p>4. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>地域運営推進会議はオンライン、また集合して行うスタイルも前向きに検討していく。 出来るだけ多くのスタッフが会議に参加する。また、参加者の方々のお顔と名前の一覧を作成する。 ヒヤリハットの集計と報告は継続し、「見える化」を取り入れて改善に繋げる。</p>	<p>新型コロナウイルスは5月から5類感染症となったものの、移行前と変わらぬ対応を継続するよう求められており依然として地域運営推進会議はオンラインでの開催となっている。 参加者一覧の作成は直接写真を撮れておらず作成出来ていない。 ヒヤリハットについては集計と意見を活かしているが、似たようなケースがまだ多い部分もある。見える化を取り入れて改善に繋げる予定。</p>	<p>・来年度は対面での実施に取り組んで欲しいです。 ・全員が同じ方向に進むために、会議に出るスタッフを毎回変えているのは、各スタッフの意識の向上にも繋がると思います。</p>	<p>地域運営推進会議をオンラインと集合での会議に変更。 参加者一覧の作成をいち早く作成、会議へご家族やスタッフが出来るだけ多く参加出来るようにお誘いしていく。 ヒヤリハットの集計と報告は続け、分析することでより良い関わりが出来るようにする。</p>
<p>5. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>完成したBCPを基に訓練を行い、R6年度に向けより良い物にするため見直しを行う。 小規模訓練を毎月行うことで、スタッフ一人一人の防災意識の向上に努める。</p>	<p>BCPに基づいた小規模訓練を毎月行い、それにより出た意見や反省を得て都度計画の見直しと改善を行っている。</p>	<p>・来年度はぜひ地域の防災訓練にも参加していただき、地域と連携した防災対策に努めていただければと思います。 ・いつも訓練などの実施報告をありがとうございます。勉強になります。</p>	<p>BCPの風水害対策の項目に雪についての対策を追加する。 スタッフひとりひとりの防災意識を高めるために継続した小規模訓練を行う。</p>

春日市地域共生部
高 齢 課
- 6. 3. 27
第 _____ 号